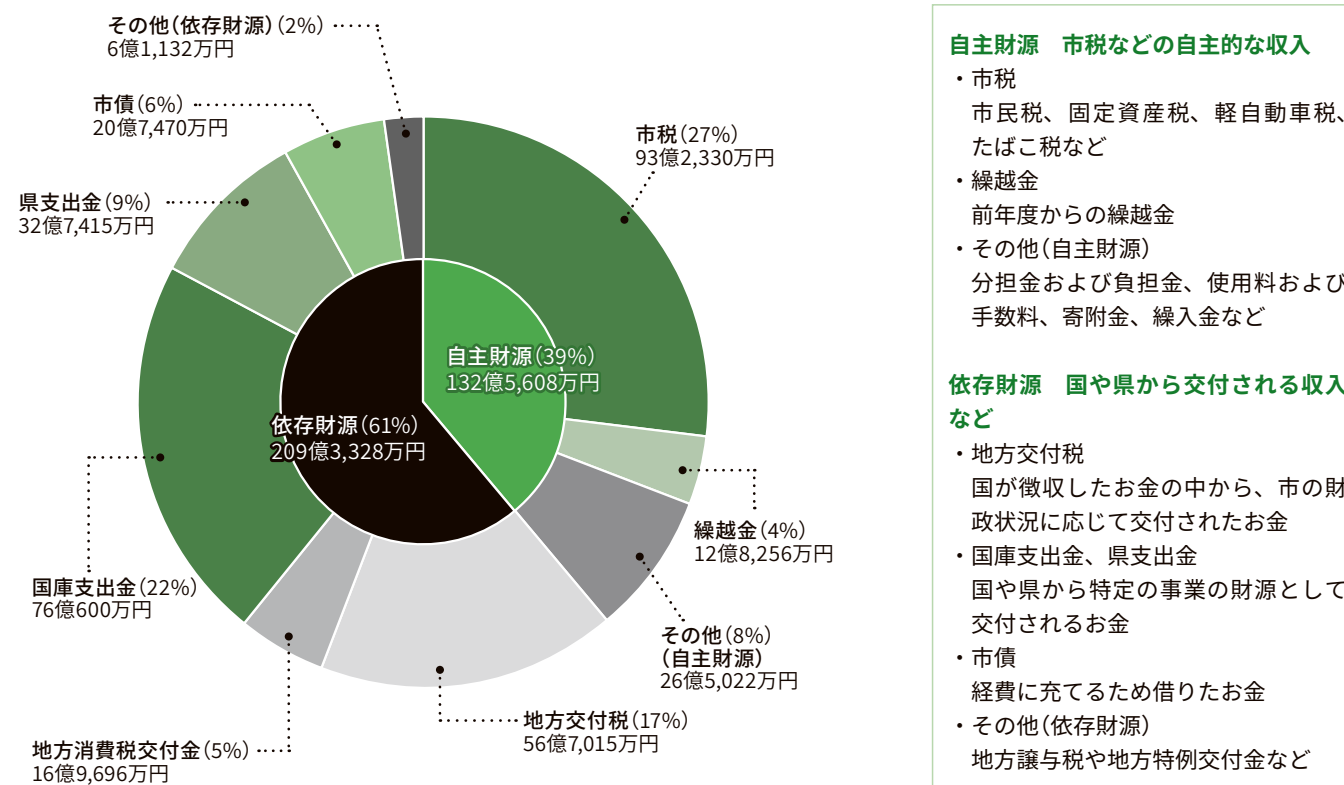


令和7年度の決算を報告します

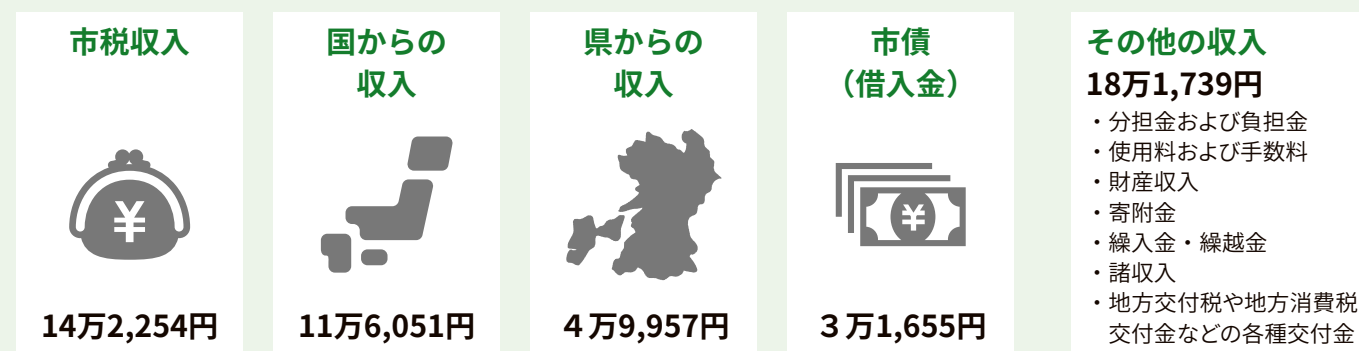
一般会計の決算は、歳入総額341億8,936万3千円、歳出総額324億5,207万1千円で、歳入歳出差引額17億3,729万2千円となり、翌年度へ繰越すべき財源の2億5,119万9千円を差し引いた実質収支額は14億8,609万3千円となりました。

一般会計の歳入 341億8,936万3千円



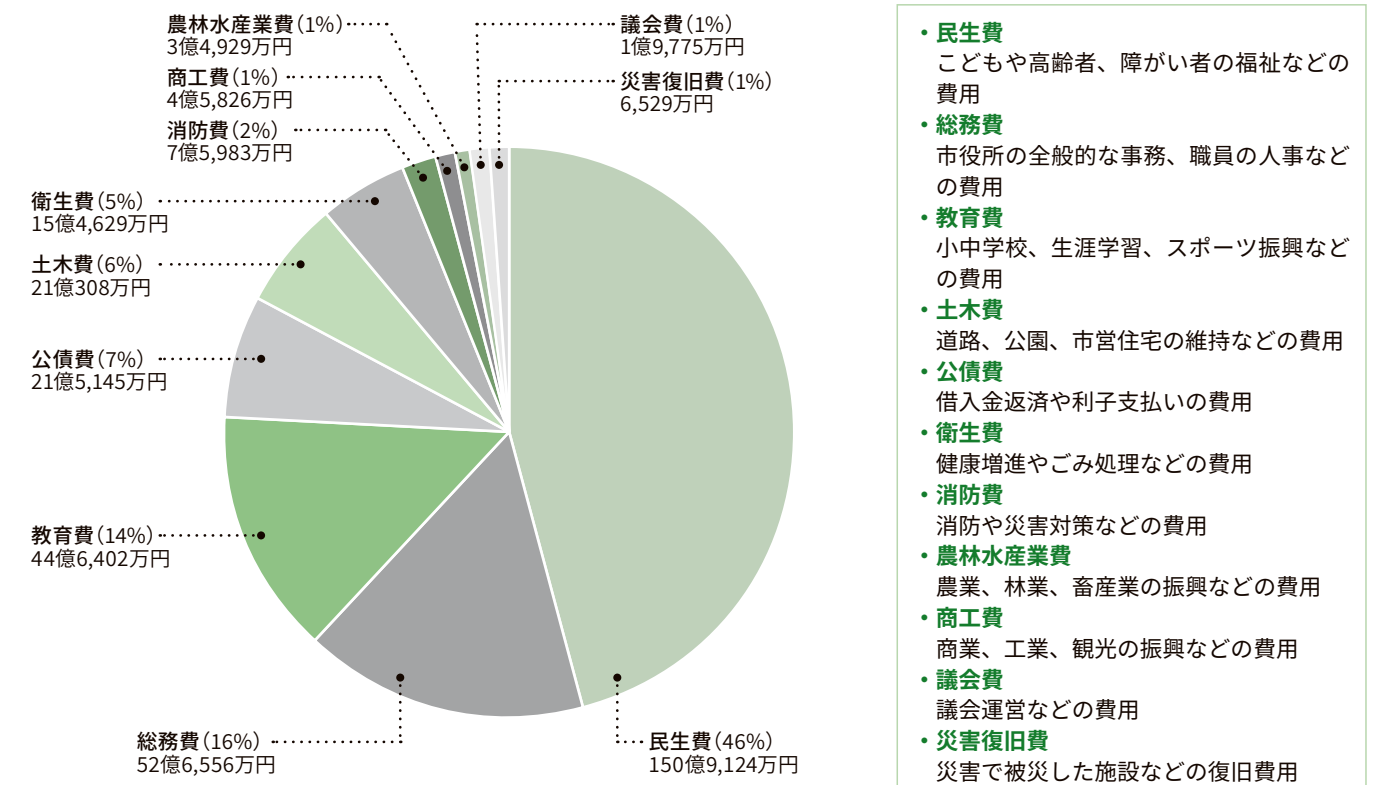
歳入は、前年度より33億4,100万7千円の増加となりました。増加した主な要因は、市民税や固定資産税が増えたことによる市税の増、児童手当負担金や物価高騰対応重点支援地方創生交付金による国庫支出金の増、合併特別債の借入れなどによる市債の増が主な要因です。

歳入額を市民1人あたりに換算すると **52万1,656円**



※令和8年3月末人口 65,540人で算出

一般会計の歳出 324億5,207万1千円



総額は前年度と比べ、28億8,627万1千円増加しています。増加の主な要因は、民生費が11億5,972万1千円増加していて、児童手当の拡充(4億6,405万円)が主な要因です。次に、教育費が8億915万2千円増加していて、ICT機器の整備(5億8,283万円)が主な要因です。このほか、道路整備のための道路改良等用地購入費など土木費の増も要因となっています。

歳出額を市民1人あたりに換算すると **49万5,149円**

